

星空 だより

普及版

2023年 4月

再開! がいけつ!
ぎもん・てんもん

小学4・6年生が理科で習う内容を
中心に、毎月わかりやすく星のお
話をします。楽しく学べて学校の
授業にもとても役に立ちます!

今月は… **16日(日) 15:30**
「月を探そう!」(小4)
月はどんな形で、いつどこに見える
かな? どのように動くかな?
プラネタリウムで確かめよう!



はやぶさ2が持ち帰った
リュウグウの砂 (A室試料)

今月の投映

今夜の星空+テーマ番組「リュウグウの砂」

2020年12月6日、日本の小惑星探査機“はやぶさ2”が地球に帰還、小惑星リュウグウからのサンプルリターン(小惑星の砂を地球に持ち帰ること)に成功しました。開けてびっくり玉手箱、この砂からわかったことは…?!

土曜11:00 今夜の星空+こども番組「からずぎものがたり」

投映日	11:00~	13:30~	15:30~	16:30~
平日(月・水・木)				●
土曜日	★	●	●	
日曜日・祝日・春・夏・冬休み	●	●	●	

※新型コロナウイルスの影響により券売時に検温などを行います。手続きに時間がかかります。

余裕を持ってご来場ください。

※ご来場、ご観覧にあたってのお願い事などは左下をご覧ください。

※新型コロナウイルスの状況により、変更が生じる場合があります。最新の情報はホームページ(<https://www.kuki-bunka.jp/sogobunka/planetarium/>)をご確認ください。

※春休み期間(4月6日(木)まで)は11:00~、13:30~、15:30~の3回投映です。春休み期間も火・金は投映はありません。29日(土・祝)も11:00~はこども向け投映です。

※16日(日) 15:30~は小学校理科の内容を扱う『がいけつ! ぎもん・てんもん』です。

観覧料

大人(高校生~) 300円 子ども(3歳~中学生) 100円

団体(20名以上) 大人250円、子ども80円 ※久喜総合文化会館メンバーズクラブ「フレンズ」会員の方はご本人様のみ無料

障がい者個人および介護者 1名 個人の料金の50%割引(要当該手帳提示)

ご来場にあたって

■新型コロナウイルス対策を行っています。ご協力をお願いします。

○おうちを出る前に熱をはかり健康状態もチェック! 具合の悪い時は無理せずおうちで休みましょう。

○来場時はお互いにはできるだけはなれるようにしましょう。

○券売時、熱をはかります。手続きにお時間がかかります。余裕を持ってご来場ください。

○投映途中の出入りはできません。トイレは先にすませ、せっけんでよく手を洗いましょう。ロビーには消毒液もあるので手を消毒しましょう。

○ご心配な方は引き続きマスクを着用しましょう。

■次のような場合はご利用をお控えください

◎37.5℃以上、熱がある場合

◎熱がなくても、具合が悪い場合

◎過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への訪問歴がある場合

◎一連の感染防止措置にご協力いただけない場合

※プラネタリウムドーム内の空調機は厚生労働省の定める必要な外気取り入れ能力基準値(1時間あたり30m³)を十分に満たしています。



5月の投映内容(予定)

今夜の星空+テーマ番組

「トリシャンク」

~南十字星になった王子様~

土曜11:00 今夜の星空+こども番組
「からずぎものがたり」

21日(日) 15:30 がいけつ! ぎもん・てんもん
「月の満ち欠け」(小6)

おしらせ

新型コロナウイルス対策等の影響で
内容等が変更となる場合があります。
最新情報はホームページでご確認ください。→



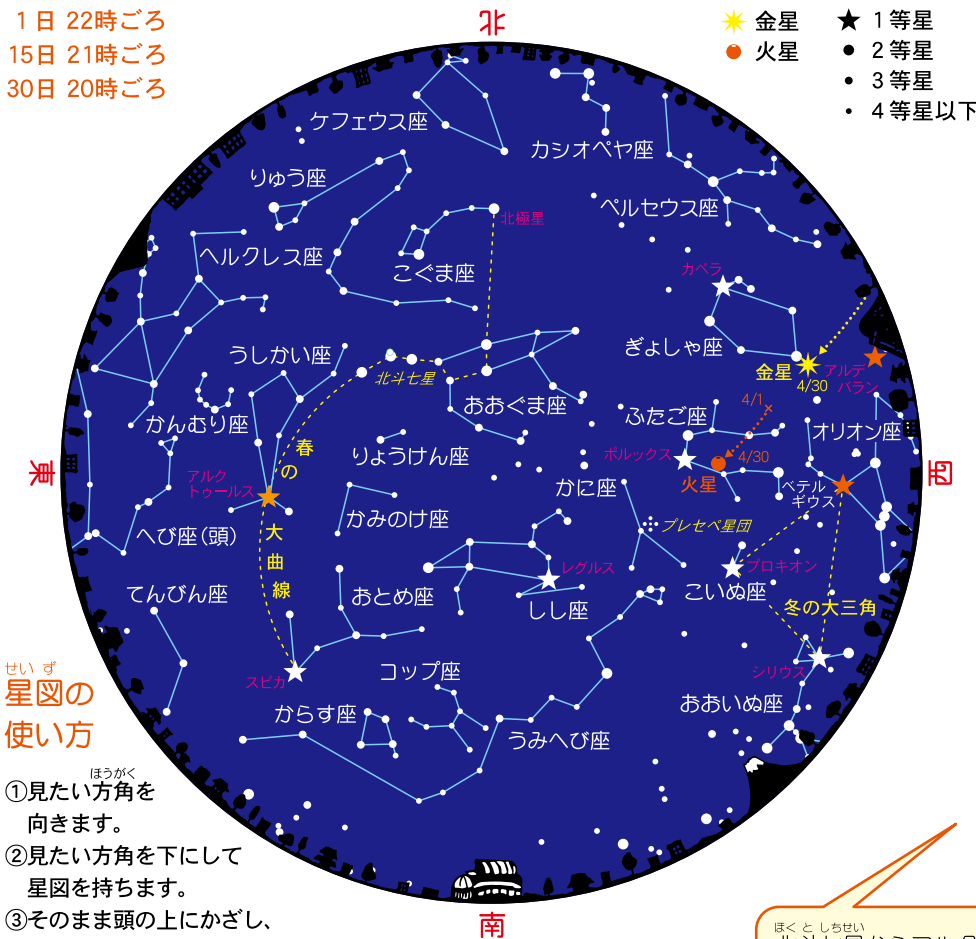
久喜総合文化会館

〒346-0022 埼玉県久喜市下早見 140

TEL: 0480-21-1799 FAX: 0480-23-6488

4月の星空

1日 22時ごろ
15日 21時ごろ
30日 20時ごろ



★ 1等星
● 2等星
● 3等星
● 4等星以下

金星
火星

星図の使い方

- ①見たい方向を向きます。
- ②見たい方向を下にして星図を持ちます。
- ③そのまま頭の上にかざし、星空と見くらべます。

惑星

西金星… 4等級。6/4東方最大離角に向け日没時の高度がどんどん高くなる。
西火星… 1等級。まだ見られる。

主な1等星

東アルクトゥルス[うしかい座]… オレンジ色。明るく目立つ。
南東スピカ[おとめ座]… やや低め。白い星。
南レグルス[しし座]… 見上げる高さ。
南西シリウス[おおいて座]… 星座の星の中で最も明るい。かなり低い。
南西プロキオン[こいね座]… 冬の星だがまだ見られる。
西ベテルギウス[オリオン座]… 低空に赤っぽい色に輝く。
西ポルックス[ふたご座]… やや高めにあり、まだしばらく見られる。
北西カペラ[ぎょしゃ座]… 明るく目立つ。



北斗七星からアルクトゥルス、スピカを結ぶカーブを春の大曲線と呼ぶよ！

イトカワの砂

はやぶさ2は小惑星リュウグウのサンプル(砂)を約5.4g持ち帰ることに成功しましたが、1号機はやぶさはサンプル回収時、小惑星イトカワに打ち込む弾丸の不発等トラブルに見舞われ、持ち帰れたサンプルはわずか数10 μ g(0.00001g)でした。砂粒もほとんどは10 μ m(0.01mm)以下でしたがX線等による検査で色々なことがわかりました。

◆この砂粒は小惑星イトカワのもので間違いなこと

◆小惑星イトカワは約46億年前に生まれ、その頃は現在の40倍くらい大きかったこと(直径20km以上)

◆他天体との衝突などにより内部が800℃くらいの高温になったこと

◆約14~15億年前、別の天体が衝突し大きく破壊され、破片が再び集まり多くの小惑星のグループができたこと

◆40万年前以降、そのうち2つが合体して現在のイトカワができたこと

◆分析結果が地球に飛来する普通コンドライト隕石に非常によく似ており、こういった隕石の起源が小惑星だと確かめられたこと

◆これまで普通コンドライト隕石と小惑星のスペクトルが一致しなかったのは、小惑星が太陽風などによる宇宙風化を受けていたためであること

◆サンプルから水も検出され、地球の水の半分ほどはイトカワのような小惑星からもたらされた可能性があること

…など、こんな小さな砂粒からこれだけのことがわかってきたのです。より多く採れたリュウグウの砂、さらに今年9月に帰還するNASAのオシリス・レックスや、その後に続くサンプルリターンできっと太陽系や地球生命の誕生の謎にもっと迫れることでしょう。



イトカワ微粒子(電子顕微鏡で撮影)

日の出

4月1日	5:28
15日	5:09
30日	4:50

日の入

4月1日	18:03
15日	18:15
30日	18:28

こよみ

4月5日	清明
6日	● 満月
12日	水星が東方最大離角(夕方西の低空 太陽から離れ見やすい)
13日	● 下弦
20日	● 新月 穀雨
23日	月と金星が接近(夕方~宵の西の空)
28日	● 上弦
29日	昭和の日